| 施設名 | 千人町学童保育所第二クラブ |
|---|---|

| 視点 | | 評価項目 | | 6月 所管課評価 | 6月 所管課コメント | 6月 指定管理者自己評価(コメント) | 9月 所管課評価 | 9月 所管課コメント | 9月 指定管理者自己評価(コメント) | 12月 所管課評価 | 12月 所管課コメント | 12月 指定管理者自己評価(コメント) | 所管課期末評価 | 所管課コメント | 指定管理者自己評価(コメント) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設の管理・運営を安定して行うことができるか | 定量的 | 職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員 | 出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか<br>【日報】 | B | 配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。 | B<br>適正に配置できた | B | | B<br>適正に配置できた | B | | B<br>過不足なく配置 | B | | A<br>過不足なく配置<br>不足している施設に自施設職員を派遣し、組織全体で適正配置に努めている |
| | 定量的 | 月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日誌兼業務記録)を作成しているか | | A | 月報、日報は適切に作成している。日報の裏面には法人独自のミーティングノート及び連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を詳細に記録することで、職員共通の認識、児童への対応や保護者への適切な対応に活用している。また、詳細に記載された保育活動や特記事項などについて、本部職員のコメントも記されており、法人全体で日々の保育活動の振り返りがなされている。 | B<br>月報、日報(育成日誌)を照らし合せて相違ないことを確認の上提出している | A | 月報、日報は適切に作成している。日報の裏面には法人独自のミーティングノート及び連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を詳細に記録することで、職員共通の認識、児童への対応や保護者への適切な対応に活用している。また、詳細に記載された保育活動や特記事項などについて、本部職員のコメントも記されており、引き続き法人全体で日々の保育活動の振り返りが恒常的に行われている。 | B<br>作成後、合同保育の記載について相違ない事を第一クラブと確認。 | A | 月報、日報は適切に作成している。日報の裏面には法人独自のミーティングノート及び連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を詳細に記録することで、職員共通の認識、児童への対応や保護者への適切な対応に活用している。また、詳細に記載された保育活動や特記事項などについて、本部職員のコメントも記されており、引き続き法人全体で日々の保育活動の振り返りが恒常的に行われている。 | A<br>適切に作成している。また、日報の裏面にはミーティングノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を記録することで、職員共通の認識、児童対応や保護者への適切な対応に活用している。 | A | 月報・日報は適切に作成されており、日報の裏面には法人独自のミーティングノート及び連絡ノートが活用されている。これにより、担当業務の明確化や児童の様子の詳細な記録が可能となり、職員間での共通認識の形成や、児童・保護者への的確な対応に役立てられている。また、保育活動や特記事項については、本部職員からのコメントも記載されており、法人全体で日々の保育を振り返る体制が継続的に整えられている点を評価した。 | A<br>適切に作成している。また、日報の裏面にはミーティングノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を記録することで、職員共通の認識、児童対応や保護者への適切な対応に活用している。 |
| | 定性的 | 団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること | 管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか<br>【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】 | B | 適正かつ明確化が図られている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | A<br>学童保育事業の銀行口座、会計帳簿等経理については、全て独立して適正に本部で管理、明確化している。資金の入出金の際には、通帳記入し資金の管理を徹底している。 | B | | A<br>学童保育事業の銀行口座、会計帳簿等経理については、全て独立して適正に本部で管理、明確化している。資金の入出金の際には、通帳記入し資金の管理を徹底している。 |
| | | | 延長利用料金の徴収は適正に行われているか<br>【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】 | B | 適正に徴収されている。 | B<br>新1年生など初めて延長保育を利用する方に、料金や引き落としについて説明した | B | | B<br>夏休み期間のみ入所の方には在籍中に引き落としについて再度説明し、未収金にならないようにお願いをした。 | B | | A<br>施設から月ごとに提出する延長利用状況表に基づき本部で手続きし、2か月ごとに口座振替にて徴収。延長保育料だけの専用の口座で適正に管理。未徴収の場合は施設が現金で徴収。徴収後は領収書と現金を本部へ提出し、本部職員が延長専用口座に振込、領収書は本部で適正に保管、管理している。 | B | | A<br>施設から月ごとに提出する延長利用状況表に基づき本部で手続きし、2か月ごとに口座振替にて徴収。延長保育料だけの専用の口座で適正に管理。未徴収の場合は施設が現金で徴収。徴収後は領収書と現金を本部へ提出し、本部職員が延長専用口座に振込、領収書は本部で適正に保管、管理している。 |
| | | 収支計画が適正であること | 給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか<br>【給与規程・賃金台帳・事業計画書(収支計画)・事業報告書】 | B | 適正に執行されている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | 定性的 | 管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること | 児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか<br>【研修件名・内容】 | A | 法人内で研修委員会を組織し、独自の研修内容を策定している。保育実践研修、応急救護研修等をはじめ、全所長を対象とした全体研修など経験年数や職層に応じた様々な研修を計画的に実施し受講している。また、入退室管理システムを活用したオンライン研修も職員個人が空いた時間を有効活用して受講されており、職員全体の資質向上に努めている。 | A<br>新規採用の職員に新人研修を実施。勤務開始から2週間以内に「服務事故防止のためのチェックシート」を用いてセルフチェックを実施。 | A | 法人内で研修委員会を組織し、独自の研修内容を策定している。保育実践研修、応急救護研修等をはじめ、全所長を対象とした全体研修など経験年数や職層に応じた様々な研修を計画的に実施。入退室管理システムを活用したオンライン研修も職員個人が空いた時間を有効活用して受講している。また、施設の運営状況の見直しや、改善点を明確にすること目的とした自己評価シートを活用するなど、引き続き職員の資質向上と運営スキルの向上に努めている。 | A・職員研修(新人研修、社会人基礎、安全対策)・保育実践研修(事例検討会)・集合研修・自己評価シートを活用(定期的に自己評価を行い、施設の運営状況を見直し、改善点を明確にすること目的として実施) | A | 法人内で研修委員会を組織し、独自の研修内容を策定している。保育実践研修、応急救護研修等をはじめ、全所長を対象とした全体研修など経験年数や職層に応じた様々な研修を計画的に実施。入退室管理システムを活用したオンライン研修も職員個人が空いた時間を有効活用して受講している。また、施設の運営状況の見直しや、改善点を明確にすること目的とした自己評価シートを活用するなど、引き続き職員の資質向上と運営スキルの向上に努めている。 | A<br>研修委員会を組織し、研修内容を策定。<br>・服務事故防止のため、セルフチェックを実施(全職員)<br>・オンライン研修(社会人基礎、安全・衛生管理)<br>・ブロック別保育実践研修(事例検討会)<br>・応急救護研修<br>・集合研修(10月「行事について」講師を務めた | A | 法人として、研修委員会を組織し、保育実践研修や応急救護研修、全体研修など、職層や経験年数に応じた研修を計画的に実施している。また、入退室管理システムを活用したオンライン研修により、職員が空き時間を活用して学べる環境も整備されている。さらに、施設運営の見直しや改善点の明確化を目的とした自己評価シートの活用を通じて、職員の資質向上と運営スキルの強化に継続的に取組んでいる点を評価した。 | A<br>研修委員会を組織し、研修内容を策定。<br>・アレルギー対応マニュアルの読み合わせ、エピペン使用方法についてロールプレイング研修を実施<br>・放課後児童支援員研修<br>・保育実践研修(事例検討会)<br>・放課後子ども総合プラン研修<br>・集合研修(2月「子どもにこんなこと言われたら・・・ 健康を保ってユーモアのある保育を！」所長が講師)<br>・SDGs全体研修「子どもが主役の学童保育所」 |
| | | | 保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか<br>【事業計画書・日報・ヒアリング等】 | B | 安定かつ継続的な職員配置がなされている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | 施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか | 事業者の経営状況が健全な状態であるか<br>【確認資料例:財務諸表・財務評価表】 | B | 適正である。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | | 業務の一括委託が行われていないか<br>【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】 | B | 協定書で定める範囲内で非常通報装置等、業務の委託が適切に行われている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| 施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか | 定量的 | 入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか | | B | 適切に処理されている。 | B<br>期限付き入所の方に、就労証明の提出を早めに依頼した | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>学校交換便を利用し、迅速に提出した |
| | 定性的 | 利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること | 開所日数、開所時間は守られていたか<br>【日報、月報・事業報告書】 | B | 開所日数、開所時間は守られている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>大雨により閉所となった際には、間違って登所する事のないように欠席確認を徹底した | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | 施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか | 文書の管理・保存が適切に行われているか<br>【ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】 | B | ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。 | B<br>保管期限の過ぎた書類は適切に処分した | B | | B<br>問題なし | B | | A<br>ファイル基準表に則り適切に管理保存をしている | B | | A<br>ファイル基準表に則り適切に管理保存をしている |
| | | | 設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか<br>【事業報告書・実地調査】 | B | 職員による日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。法人や市からの通知は個別にまとめて壁に見やすく掲出されており、常に最新版に更新されている。 | B<br>業者による定期清掃で床のワックスがけを実施した | B | | B<br>学童裏の登所用通路に砂利を補充した。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>業者による窓ガラス清掃を実施 |
| | | | 備品の管理が適切に行われているか<br>【備品台帳・実地調査】 | B | 適切に管理されている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | A<br>備品シールにて通番管理、備品管理簿にて適切に管理している。 | B | | A<br>備品シールにて通番管理、備品管理簿にて適切に管理している。 |
| 施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか | 定量的 | 利用者の満足度3.0<br>【利用者満足度調査】 | | | | | | | | | | | A | 利用者の満足度は3. 0以上である。 | A<br>全項目3.6以上の評価をいただいた。全体的な満足度も平均3.8を越え、保護者への対応や、子どもが楽しくなる取り組みが評価されたと感じている。 |
| | 定性的 | 放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか | | B | 児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力して行い、放課後子ども教室開催時には積極的に参加している。 | B<br>問題なし | B | | B<br>夏休み中は放課後子ども教室の見守り員が少なくなるため、連携して外遊びを行った。 | B | | A<br>冬時間になり、登所前に放課後子ども教室に参加できるよう柔軟に対応した | B | | A<br>放課後子ども教安全管理員の新年度説明会に参加し、学童保育所の概要を説明した |
| | | 利用者からの苦情処理の体制がとれていること | 苦情解決の体制(解決責任者の設置・受付担当者の設置)を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか<br>【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】 | B | 苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有するなど適切な対応がされている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | A<br>苦情対応の体制を整え、苦情や相談について記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有している。 | B | | A<br>苦情対応の体制を整え、苦情や相談について記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有している。 |
| | | 利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか | 保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか<br>【おたより、連絡帳】 | A | おたよりやアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。また、保護者支援の一環として外部事業者の昼食対応や新たに早朝保育を実施している。 | A<br>4月春休みに早朝保育(7:30～8:00)を試行として実施。ICTシステム(コドモン)を導入。コドモンからお便りや情報を発信。個人面談を実施。 | A | 保護者会、おたよりやアプリを使い、保護者へ児童の様子や活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。長期休業期間中、早朝保育や外部事業者の昼食提供の対応など、保護者支援の一環としての取り組みが行われている。また、夏の宿泊キャンプでは現地からリアルタイムで児童の様子を保護者へ配信しており、オンラインや対面での保護者とのつながりを大切にした保育を行っている。 | A<br>早朝保育(7:30～8:00)を実施。就労支援、小1の壁の解消、利便性の向上につながる取り組みとなった。 | A | 保護者会、おたよりやアプリを使い、保護者へ児童の様子や活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。長期休業期間中、早朝保育や年未保育、外部事業者の昼食提供の対応など、保護者支援の一環としての取り組みが行われている。また、学童行事における保護者のお手伝いや参加、入退室管理システムを利用しての保育活動の紹介、児童の様子を保護者へ配信しており、オンラインや対面での保護者とのつながりを大切にした保育を行っている。 | A<br>保護者支援、コミュニケーションづくりの一環として<br>・早朝保育(7:30～8:00)を実施<br>・年未保育(12月30日、31日を実施<br>・外部事業者の昼食対応<br>・保護者参加、応援の学童まつりを実施<br>・入退所管理システムを利用して活動内容を紹介 | A | 保護者会の開催やおたより、アプリを活用し、児童の様子や活動内容を定期的に発信することで、保護者との円滑なコミュニケーションを図っている。長期休業期間中には、早朝保育や年未保育、外部事業者による昼食提供など、保護者支援を目的とした取組も行われている。また、宿泊キャンプや行事では、児童の様子をリアルタイムで配信したり、アプリを通じて保育活動を紹介するなど、オンライン・対面の両面から保護者とのつながりを大切にした保育を実践している点を評価した。 | A<br>保護者支援の一環として<br>・早朝保育(7:30～8:00)を実施<br>・外部事業者の昼食対応<br>・入退所管理システムを利用して活動内容を紹介<br>・玄関の掲示板の活用 |
| | | 学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか | 学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか<br>【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】 | A | 学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターと密な連携を図っている。また地域ボランティアの協力をいただき、お話し会やお手玉の講習を実施し地域の人材を活用した保育活動の充実を図っている。 | B<br>地域のボランティアの方による「むかし遊びの日」を実施 | A | 学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターと密な連携を図っている。保育行事では、地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会や昔あそびの講習を実施し、地域の人材を活用した保育活動が引き続き行われている。 | B<br>地域のボランティアの方による「むかし遊びの日」を実施。サタデースクールに参加。 | A | 学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターと密な連携を図っている。保育行事では、引き続き地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会や昔あそびの講習を実施し、地域の人材を活用した保育活動が行われている。 | A<br>・地域の方を講師に迎え、むかし遊びの日を実施<br>・ミニサッカー大会の昼休みに地域のサッカーチームのコーチにサッカー教室を実施していただいた | A | 学校とは日常的に児童に関する情報提供・共有を行い、状況に応じて関係機関とも連携を図っている。また、保育行事では、地域ボランティアの方の協力のもと、お話し会や昔あそびの講習を実施し、地域の人材を活用することにより、保育活動の拡充・拡大を図っている点を評価した。 | A<br>・小学校との情報提供・共有<br>・近隣保育園の年長園児を施設に招待し、学童保育所体験を行った<br>・青少対クリーン作戦、夜間パトロールに参加<br>・地域の方を講師に迎え、むかし遊びの日を実施 |
| 施設・設備の効率的な管理・運営が行われ、経費の減が図られているか | 定性的 | 資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること | 「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H－EMS：ヒームス)」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか<br>【ヒアリング等】 | B | 節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>・家庭で不要になった玩具を保護者から譲り受け、保育活動を行う上で有効活用 | B | | ・家庭で不要になった玩具を護者から譲り受け、保育活動を行う上で有効活用 |
| 事業計画の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか | 定量的 | 年間行事が事業計画どおり実施されているか<br>【行事計画書、行事参加者名簿】 | | B | 計画どおり実施されている。 | B<br>「七夕工作」を実施し、季節の行事を楽しんだ | B | | A,3年生を対象に宿泊キャンプを実施。・夏休み中の保護者のお弁当負担を減らすために、給食提供、レトルト昼食、おにぎりの日を行った。・近隣学童保育所とのドッジボール大会の実施 | B | | A<br>暑さのため延期していた夏のボウリング遠足を実施 | B | | A<br>お楽しみ遠足で公共交通機関を使用し、さがみ湖MORIMORIに行った。交通系ICカードの利用方法や公共の場所でのマナーを学んだ |
| | | 防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか | | B | 地震を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。 | B<br>警察署から借用したDVDを使用して交通安全教室を実施した | B | | B<br>第一クラブと合同で交通安全教室を実施。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| 個人情報保護管理及び危機管理が図られているか | 定性的 | 個人情報の取り扱いが適切であること | 個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか<br>【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】 | B | 個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし |
| | | 緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること | 指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか<br>【保険証券】 | | | | | | | | | | B | 保険の加入は適切である。 | B<br>問題なし |
| | | | 事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が整えられているか<br>【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】 | B | 万が一の事故や災害に備え、適切な対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | A<br>事故や災害に備え、適切に対応できるよう危機管理マニュアルを策定。 毎日、ミーティングにて出入口担当、自衛消防(避難誘導、通報連絡、初期消火、応援救護)の担当者を配備し、防犯・災害時の担当を明確にしている。 | B | | A<br>事故や災害に備え、適切に対応できるよう危機管理マニュアルを策定。 毎日、ミーティングにて出入口担当、自衛消防(避難誘導、通報連絡、初期消火、応援救護)の担当者を配備し、防犯・災害時の担当を明確にしている。 |
| | | | 事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか<br>【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】 | B | 事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。 | B<br>問題なし | B | | B<br>問題なし | B | | A<br>全体で安全対策委員会を組織、委員会ニュースを発行。ヒヤリハット事例の分析と対策、事故防止・対応について全職員に共有し、意識啓発に取り組んでいる。 | B | | A<br>全体で安全対策委員会を組織、委員会ニュースを発行。安全対策全体会を実施し、ヒヤリハット事例の分析と対策、事故防止・対応について全職員に共有し、意識啓発に取り組んだ。 |

| | |
|---|---|
| 期末総合評価 | B |
| 所管課コメント | 市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されており、良好である。<br>法人の基本方針である「安全・安心・遊び」に基づいた保育目標を設定し、児童の健やかな成長を支える多様な活動に取組まれている。特に、3年生を対象としたキャンプ行事では、食事作りやカヌー体験などを通じて、自らの力で挑戦し、仲間と協力する体験活動を提供しており、児童及び保護者の満足度も高い。<br>また、職員の応援体制や課題発生時の組織的な対応、保育行事や職員研修を法人の枠を超えて近隣施設と連携して実施する姿勢は、公の施設の管理運営に対する高い意識として評価する。<br>本施設は、学校敷地内に設置されており、隣接の千人町第一クラブと連携を取りながら、安定した保育に努めているほか、地域ボランティアの協力のもと、お話し会や昔あそびを実施し、地域の人材を活用することにより、保育活動の拡充・拡大を図っている。<br>今後も、保護者、学校、地域の関係機関との良好な関係を保ち、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育の運営を期待する。 |